愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本科目は「総合演習Ⅰ」での学びを踏まえ、子どもの「あそび」をテーマとして体系的、実践的に学びを深める。合同ゼミとゼミ活動を組み合わせて実施する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テーマに基づき対面授業として実施する。ディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、レポーティング、プレゼンテーションといったアクティブ・ラーニングに取り組む。情報共有や課題提示、フィードバックにおいてLMSを活用し、授業の一部をリモート形式で実施する場合がある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	後期授業オリエンテーション	後期「総合演習」の学習テーマ、演習の目的と到達目標、毎回のテーマと課題、成績評価基準などの説明、役割分担	□
第2回	「キッズ・シティ」フィールド・ワーク①	名東児童館「キッズ・シティ」の準備会合	□
第3回	「キッズ・シティ」フィールド・ワーク②	名東児童館「キッズ・シティ」の活動（午前）	□
第4回	「キッズ・シティ」フィールド・ワーク③	名東児童館「キッズ・シティ」の活動（午後）	□
第5回	フィールド・ワークの振り返り（1）	名東児童館「キッズ・シティ」に参加しての振り返り	□
第6回	児童館の行事活動	児童館における行事について理解する	□
第7回	「クリスマス会」フィールド・ワーク①	名東児童館の「クリスマス会」企画打合せ会	□
第8回	「クリスマス会」の準備	名東児童館「クリスマス会」の企画検討と準備	□
第9回	「クリスマス会」フィールド・ワーク②	名東児童館「クリスマス会」の当日準備	□
第10回	「クリスマス会」フィールド・ワーク③	名東児童館「クリスマス会」企画運営	□
第11回	フィールド・ワークの振り返り（2）	名東児童館「クリスマス会」の振り返りとまとめ	□
第12回	子どもの「あそび」研究のまとめ	様々な「あそび」の演習活動を振り返りながらまとめる	□
第13回	全体活動「専門演習」ゼミ分け説明会	3年生のゼミ分けについて内容や注意点を理解する 研究発表の準備	□
第14回	研究発表に向けて	「総合研究」の研究発表に向けて準備する	□
第15回	演習活動のまとめ	１年間の「総合演習」のまとめと振り返り 研究発表を行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の授業を理解するために、毎回指示するテーマや課題を予め調べておく（2時間程度）。 事後学習として、授業で扱ったテーマや課題について関連資料を参照しながら復習する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

LMS上に提出された授業の振り返りは、翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	総合演習の学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的な考えたうえで、課題について客観的に判断し、的確に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	ゼミ生、地域住民、専門職、子ども達との中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で提示する各課題への取り組み姿勢と到達度、ゼミ活動への貢献度等から、教師・保育士にとって、必要な思考力・表現力・判断力・実践力が身についたかを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で、適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		